

## 事務事業評価表

記入年月日	平成16年4月15日			
平成16年度	事業コード	11220	電話	042-769-9231
担当部課名	保健福祉部	高齢者福祉	課	いきいき応援グループ
事務事業名	南大野老人いこいの家運営事業			
予算上の事務事業名	老人いこいの家維持管理費			

## 1 総合計画における位置づけ

政策名	▼ 第 1 章	安心して生活できる福祉社会をつくります	事業開始年度
基本施策名	第 2 節	いきいきとした高齢社会の創造	63以前▼年度
施策名	第 2 施策	高齢者の社会参加と生きがいづくり	

## 2 実施根拠及び関連法令等

相模原市立老人いこいの家条例
----------------

## 3 事務の区分

自治事務



## 4 経費の区分

その他の経費



## 5 事務事業の分類

市単独事業



## 6 受益者負担

なし



## 7 事業概要

(1)事業の目的...何をどのように(どのような状態に)したいのか 高齢者の教養の向上やレクリエーション等の場の提供を行うことにより、高齢者の交流や生きがいの創造を行ない、高齢者の福祉の増進を図る。平成16年度から住み込みの管理人を廃止し、シルバー人材センターの委託による管理とした。	(2)対象(誰、何) 市内在住の60歳以上の者及び老人クラブ
	対象数 125,418 (平成16.4.1)
	単位 人
(3)平成15年度事業の内容...市が実際に行った事業の内容 いこいの家内の和室3室(約10畳2室・6畳1室)を、60歳以上の高齢者のサークルや老人クラブに無料で貸し出している。利用の内容は、書道・華道・民謡・詩吟・踊り・三味線・囲碁・などの趣味のサークルの使用や、老人クラブの会議などがある。	
(4)個別計画の概要	概要
計画名	なし
計画年次	年度～年度

## 8 評価指標...事業の目的達成度を計るための指標

16,17年度は目標値

指標名	指標式・指標の単位	指標設定の意図	指標の推移(年度)				
			13	14	15	16	17
成果指標	年間利用率 年間利用日数/年間利用可能日数(%)	各年の年間利用率を比較することで、施設の活用成果の推移を表す。	81	89	92	92	92
活動指標	年間利用者数の増減割合 年間利用者数/前年の年間利用者数(%)	各年の年間利用者数を比較することで、施設の活用状況の推移を表す	93	99	96	100	100

## 9 事業費等の年度別状況

〔金額単位：千円〕

	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度
	決算	決算	決算(見込み)	予算	予算(見込み)
事業費					
決算(予算)額	823	628	795	775	775
人員・時間数	0	0	0	0.0	0.0
人件費					
その他経費					
合計	823	628	795	775	775
特定財源					
対象数(人)	104,406	111,556	117,901	125,418	134,310
単位あたり経費(円)	7.9	5.6	6.7	6.2	5.8

10 個別評価(担当課による一次評価)

(1)達成度 評価 B ▼	A:達成している	チェック項目	・成果指標の達成度 <input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低
	B:一部達成していない		・活動指標の達成度 <input type="checkbox"/> 高 <input checked="" type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低
	C:達成していない		・事業目標の達成度 <input type="checkbox"/> 高 <input checked="" type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低
		説明	使用する高齢者や高齢者の団体が固定されつつあるために、使用者は増加しなかったものと思われるが。
(2)必要性 評価 A ▼	A:適応している	チェック項目	<input checked="" type="checkbox"/> ・市民や社会のニーズにかなっている
	B:一部適応していない		<input type="checkbox"/> ・状況の変化(対象や内容)に対応している
	C:適応していない		<input type="checkbox"/> ・当初設定した事業目的が達成されていない
		説明	<input checked="" type="checkbox"/> ・国、県、民間、市民との役割分担から見て、市が事業を行う必要がある 使用開始後29年が経過しており、施設の老朽化も見られるが、南部地区の高齢者のいこいの場として必要な施設であり、今後も介護予防の拠点としての役割を担っていくものであるため。
(3)有効性 評価 A ▼	A:有効である	チェック項目	<input checked="" type="checkbox"/> ・上位の施策、計画目的達成のために有効である
	B:一部有効でない		<input checked="" type="checkbox"/> ・期待された成果が得られている
	C:有効ではない		地域の高齢者のいこいの場として、またサークル活動などによる介護予防の推進の場として、この施設は有効なものと思われる。
		説明	
(4)効率性 評価 B ▼	A:優れている	チェック項目	<input checked="" type="checkbox"/> ・予算や人員に見合った効果が得られている
	B:一部改善の余地がある		<input type="checkbox"/> ・他市と比べてコストや効率性が優れている
	C:改善の余地がある		<input type="checkbox"/> ・他の類似事例と比べてコストや効率性が優れている
		説明	<input checked="" type="checkbox"/> ・同一対象者に対して同種のサービスが重複していない 使用者が固定される傾向が見られ、今後使用対象者が増加するとはいえ、このままでは使用者が伸びないことが考えるため。
(5)公平性 評価 A ▼	A:公平である	チェック項目	<input checked="" type="checkbox"/> ・対象者と非対象者との不公平・不均衡は、妥当な範囲である
	B:一部公平でない		<input type="checkbox"/> ・受益者の費用負担は適正である
	C:公平でない		<input checked="" type="checkbox"/> ・対象者の設定は適切である(年齢や所得等を考慮している)
		説明	老人いこいの家の利用対象者を市内在住の60歳以上の者及び老人クラブとする事は、公平・適切であると考えられるため。
(6)成果の向上及び費用対効果を高めるための方策		(7)今後の課題となっていること	
施設は老朽化しているが、南部地区の高齢者のいこいの場としては必要なものであり、今後も施設の維持・補修を行いながら、利用や成果の向上を図る。		現在の施設は老朽化しているものの、今後は現在の施設の改修を行いながら、介護予防や高齢者のいこいの場の提供という目的を達成していくことが必要である。	

11 総合評価(担当課による一次評価)

評価	A ▼	他自治体の類似事業との比較
今後の進め方		
<input checked="" type="checkbox"/>	継続	総合評価に関する説明 施設は老朽化しているものの、高齢者へのいこいの場の提供は必要であり、今後も必要な維持・補修を行いながら、周辺地域の高齢者のいこいの場や介護予防の機会を提供していくことが求められている。
<input type="checkbox"/>	見直し	
<input type="checkbox"/>	完了・廃止	
<input type="checkbox"/>	完了(廃止)済	

12 二次評価コメント(行政評価会議による二次評価)

<今後の進め方:廃止> 建替等を契機に廃止統合すること。
------------------------------